



カンスンさんの写真展

趙寿玉の舞

不思議な人カンスン

川勝敬子



1998年7月2日「現から彼方へ」の趙寿玉の公演があった東京芸術劇場のことだった。初めての受付でボーとしていた私たちに「何かお手伝いをしましょう」と言ってくださったのがカンスンご夫婦であった。その時、飾ってあったボジャギを見ていろいろ話をし、男の人なのにボジャギに興味をもっているんだと驚いたこととゴミのかたづけを最後まで手伝ってくれたこと等から深い、味なジェントルマンという印象を持った。当時は不思議な人だとは思わなかったし、カメラマンだということも知らなかった。

趙寿玉の舞台には彼のカメラ姿がある。名前は出したいくないといひ続ける割には誰よりも強烈な存在感がある。

写真撮っている姿はニヒルな万年青年だが、写真を離れると普通のおじさん以下に成り下がって果物屋で梨を買ったりパン屋でパンを買ったりして持ってくる。不思議だ。

写真集を作ろうとか写真展をしようといったら、準備不足でできっこないと言う。強引に事を押し進め、会報に案内記事を書くことになった。

「カンスン、私何か書けると思う？ カンスンの事を」

「書けるはずないじゃないか。僕の事知らないでしょ？」

「そうかもしれないけれどねえ」

思うに、家族構成や奥様との出会ひ、お父様が亡くなった時のこと、お母様がお墓参りに行かれるときのこと、そのお母様がきれいな好きなこと、ステンドグラスのある自宅だということ、物を増やさないうように心がけていること、と、結構知ってることあるんだけれど…。





カンさんは、皆に愛されている頑固もので、寡黙なようでおしゃべりで、理屈っぽくて素朴でジープンが似合う万年青年です。

カメラを持ってどんなものでもパチパチと写す姿は格好よく、彼にカメラを向けられると、やめて写さないでと懇願しようが、

結局はカメラの前に立つ羽目になる。

趙寿玉の舞踊の写真は量質ともにごいもので、みんなにも見てもらいたいなと単純に考えて写真展というものを考えたのだが、

「写真展で自分の名前は出さないで欲しいって前から言っているでしょ。いやだから」「小さくわからないようにだったらいいでしょう」「いやだっていつたらいやなんだ。わからない人だね」「だって誰が写したものですかと聞かれるじゃない」「後世の人に残す、とかいうの嫌いなんだ。名前が残るようなこと、したくない」「おかしなことという人ね。写真は残るものでしょ?」「いや、紙切れだから、燃えてしまうものだよ」「そんなことないでしょう」「もう少し優しい女かと思っただけど強いなー。こんな話じゃなくて違う話をしたいな。ペヨンジュンの話とかさ」

などといいつつ、いざ写真展を開くことが決まると、真剣に前向きに取り組む。やっぱり不思議です。

運転と美しさは控えめにと年賀状に書いてくれたメッセージ、いつも心しています。これからも寡黙で素直で皆に「憎い」とうならせるように自然体で接してください。

ささやかな写真展とカンさんの好きなサルプリ舞、見に来て下さい。



●自由が丘コリアンネットではカンさんの写真展を行います
皆様お誘い合わせの上お越しくださいますよう、お待ち申し上げます
23日と25日は予約(電話 FAX Eメール)を承りますので
よろしくお願ひ申し上げます

10月23日(日) ~ 10月27日(木)
AM 11:00 ~ PM 6:00
自由が丘コリアンキャッツ
世田谷区奥沢5-34-1
最寄り駅・東横線自由が丘徒歩8分
目黒線奥沢徒歩5分

10月23日
写真展オープニングセレモニー
(舞踊・趙寿玉)
午後3時より 3000円(食事含)
交和会館(奥沢2丁目18)

10月25日(火) 食事会
コリアンキャッツ
12時より 会費 4000円



主催・問合せ: 自由が丘コリアンキャッツ
☎ 050(3408)5891 FAX 03(3721)2746
E-mail koreanet@hotmail.com



華齡

はな よわい

趙富子を寿ぎて

趙富子さんをお祝いする会を 開催するにあたって

林鮮玉

私が趙富子さんと出会ったのは、7年前のことだったと思います。朝日カルチャーセンターの教室で私が韓国舞踊を習い始めるようになって、3ヶ月ほどして趙さんがやってきました。それ以来のお付き合いになります。

当初、教室は2週間に一度でした。素人の私たちがその程度の練習で普通に踊れるはずもなく、右手右足が同時に出るような始末で、本当に見るとするでは大違いの韓国舞踊の世界でした。先生も、さぞ苦労されたことと思います。

私たちはとても出来の悪い生徒ではありませんが、その分、とてもまじめな生徒でもありません。2週間に一度の練習じゃダメだと思い、自分達でビデオを見て練習したりスタジオを借りて練習する等の、努力をしました。今思えばとても懐かしい気がします。

一生懸命練習した後のビールの味は格別でした。ビール片手

に舞踊談義に華を咲かせ、子育ての悩みや家族のこと等いろいろなことを話し、とても楽しくて有意義なひと時を過ごしたものです。

今回、趙富子さんをお祝いする会を開催しようと思いましたが、昔のは、趙さんが60歳という、昔で言う還暦の節目を迎えたからです。いまや女性の平均寿命は80歳を超える時代です。還暦のお祝いなんて…と思う方も多いようです。でも今回は還暦にかこつけて趙さんの踊りを皆さんに見て頂きたいと思えました。

趙さんはしつとりと何とも言えずステキに踊られるのです。趙さんが一人の女性としてステキな人生を送っている証なのかなあ等と思ったりします。

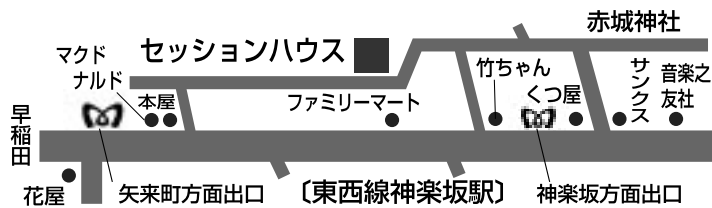
女手一つで二人のお嬢さんを育て、もうお孫さんもいるのですが、いつも若々しく趣味に仕事にと忙しい日々を過ごされています。チュムパンの会の若者は「趙オンニのように歳を重ねられたらいいね」などと言っています。

ます。

一歩先に行く趙富子さんの人生がこれからも、もっと素晴らしいものであることを願い、そして私たちも後に続けることを願ひ、つたない舞ではありませんが、全員でお祝いの気持ちを込めて趙富子さんと共に踊ろうと思ひます。

日時 2005年10月16日
場所 15時 開演 15時30分
会場 セッションハウス
(地下スタジオ)
お茶代 3000円

問合せ 林鮮玉
090 (1808) 8706



地下鉄東西線神楽坂駅下車 神楽坂方面出口より徒歩1分

ハナ、トゥル、セ、マニじや駄目？

鈴木 志生

ハナ、トゥル、セ（いち、に、さん）。トゥル、トゥル、セ（にい、にい、さん）……。セ、の次は何だつけ？ なんて考えたら、あ！ 足が遅れた。舞踊を始め、もう1年半になるといいうのに今だにこの調子。

最近の韓流ブームの訪れるほんの少し前、ひよんなことから韓国語を始めた私。韓国語教室に通っても、教室でしか韓国語には触れず、目的を見失いそうになっていった丁度その頃、友人を通じて韓国舞踊の存在を知った。

最近運動不足だし、美容と健康の為、と安易に考え、舞踊を始めた。始めてすぐの頃、韓国語教室でお決まりに聞かれる「先週何をしましたか？」に私は毎週決まって舞踊の事を話した。

の順番も覚え、先輩達にぶつからずに踊れるようになってきた。そんな私に、またとないチャンスが訪れる。今度の公演で舞鼓を踊ることになったのだ。踊りたい、でも本当に踊れるのか？ 話を聞いてから、お稽古を始めるまで毎晩夢を見た。舞台にいたるのに、私一人だけ振り分が分らずボーっと立っている夢。まさに悪夢だ。



まだ、練習を始めてもいないのにこの有様では、人前で踊るなんて無理なんじゃないかと何度も考えた。夢から覚めるたびにでも待てよ、韓国語を続ける目的を見失ってダラダラ通っていた時、救ってくれたのは舞踊だったじゃないか。精一杯目的に向かつて頑張ってみよう。舞踊を始めて日が浅いし、自分には何もないのだからスポンジの様に、とにかく吸った事を吸収し

李梅芳舞踊団が初の本格公演 韓国舞踊 伝統の至芸

半世紀以上にわたり韓国舞踊界をリードしてきた李梅芳先生。梅芳先生の歩みは、そのまま韓国舞踊の歩みといえます。「僧舞」と「サルプリ舞」で人間国宝に指定されている梅芳先生が、渾身の至芸を披露する。

2005年11月26日(土)

関内ホール・大ホール

開場6時 開演6時30分

S席 4500円

A席 4000円

B席 3500円



演目
立舞 僧舞 長剣舞 小鼓舞
長鼓舞 剣舞 土風情感 祈願舞
草笠童 サルプリ舞 巫堂舞
主催 横浜能楽堂(横浜市芸術文化振興財団)
関045(263)3055

李梅芳プロフィール
70年に及ぶ芸歴で韓国やフランスの文化勲章を受章するなど、韓国古典芸能界の大御所として世界的な名声を持つ。指の先まで神経が行き届いた繊細なテクニクと感情表現の豊かさは韓国舞踊の真髄を感じさせる。韓国の「人間国宝」制度は、1曲1人が基本だが、李梅芳氏はただ1人だけ僧舞とサルプリ舞の2曲で指定されている。

よう！ チャンスをもらったことを誇りに練習する以外に何がある。悩んでいる暇はない。10月の公演に向けて、踊るのみ。公演当日、うまく踊れるかどうかなんて自分にも分からない。でも、ハードルは跳び越える為の物。自分が1つ成長するためには、飛ばなくては。

踊り終わって笑っていられますように……。ええと、セ、の次はネ(よん)。タソツ(ご)とヨソツ(ろく)はどっちが先だつけ？ ハナ、トゥル、セ、マニ(たくさん)じゃ駄目？
まだまだ前途多難である。(注：文中のかっこ書きは編集部による)